

ふくしきり人。



ふくもと 福本
れいな 麗菜さん
特別養護老人ホーム うみべの家



今回の「ふくしきり人。」は、大洗町にある特別養護老人ホームうみべの家で、施設利用者の方々に対し、心配りと気遣いあふれる介護の仕事に取り組んでいる福本麗菜さんをご紹介します。

中学時代の職場体験で決めた「就職先」——

潮風が心地よく吹く、大洗の閑静な住宅地の一角にたたずむうみべの家は、主に80歳から90歳の方が多く利用される特別養護老人ホーム。海の街らしくイカリなど船をモチーフとするモニュメントの数々が敷地内に点在し、その雰囲気をもより一層醸し出している素晴らしい施設です。

そんなうみべの家と福本さんとの出会いは今か

ら8年ほど前の中学生の時。当時行われた「職場体験」でこのうみべの家を訪れ、とても楽しかった経験が忘れられず、その数年後、その思いを胸にこのうみべの家に就職を決めたというのです。就職の時期を迎え、福本さんの通う高校にはこのうみべの家からは求人票が届いてなかったそうなのですが、福本さんは高校の先生にうみべの家への就職のサポートをお願いし、経緯を知ったうみべの家側もそんな福本さんの熱い想いを汲み、相思相愛で採用が決まったそうです。

福祉の仕事にかかわらず、いろいろなきっかけとさまざまなご縁があり、今の職場と巡り会えたという方も多いのではないかと思います。しかし、福本さんほど運命的なめぐりで職場を決めた

嫌なことばかりじゃない、 『やってみなきゃわからない』その充実感。

いう方はとても珍しいのでは、と感じさせられました。

温かい職場と親切なスタッフや 利用者さんに囲まれて——

その福本さんが勤務するうみべの家では、サービスの質という点に特に注意を払い日夜運営されています。「仕事の質にはこだわりたい」と話す入社3年目の福本さんも、周囲の協力とサポートに後押しされ日々成長を遂げています。

「当初は福祉の仕事に自信を持てなかった」という福本さんですが、初任者研修を受講して徐々に仕事への手応えを感じ取れるようになり、今ではプライドを持って堂々と仕事に臨む姿が日常となりました。

そんな福本さんですが、時に友人らと話をすると「少なからず福祉の仕事へのイメージのギャップを感じる」とのこと。「福祉というどうしてもネガティブな印象が強いのは仕方ないにしても、現状は決してそんなことばかりではない」と話す。人生の大先輩と接して得られる経験は何事にも代えがたい貴重なもの。「この仕事を考えている方々には是非挑戦をしてみたい。やってみると必ず印象が変わりますよ。」

プライベートも充実し、更なる飛躍へ——

そんな福本さん、外見も振る舞いもとても協調性豊かな女性で、いつも賑やかな輪の中心にいるというイメージを受けますが、お休みの日の過ごし方をお聞きしたところ、意外にも「独りの時間を大切にしています」というお答えでした。「職場も家庭もたくさんの人に囲まれている（笑）ので、お休みのときぐらい独りで買い物に行ったり、独りで音楽を聴いたりしてリラックスし、オンとオフの切り替えをしている」のだそうです。



人生の大先輩から学ぶこともたくさん



「福祉の仕事に挑戦してみたい」と話す福本さん



少しずつ仕事にも自信が

フの切り替えをしている」のだそうです。

最後に今後の目標はお聞きしたところ、「来年は実務経験が3年になるので、介護福祉士の資格取得をするために実務研修を受講したい。そして将来的には介護福祉士、そしてケアマネジャーにも挑戦して行きたい」と将来の夢を話す福本さん。「ただ中学時代に得た『楽しかった』経験、そこからスタートしたこの仕事への思いと決意は、今後も決して忘れないようにしたい」と語ってくれました。

初心を忘れず夢を実現する福本さんの姿が見れる日が楽しみです。



同じ職場の人たちとのコミュニケーションも欠かずに